

## 第 4 回吹田市高齢者生活支援体制整備協議会 資料

## 「吹田市内での支え合い活動の好事例の紹介」

## 「集いの場」

## ①【岸部地区】岸部府営住宅での「集いの場」

岸部地域包括支援センターと府営岸部第一住宅自治会との茶話会の開催。

地域包括として、高齢化が進んでいる地域として、住民が集う場所の必要性を感じ、さまざまなアプローチを試みていた。自治会から健康講座の依頼があったことをきっかけに、定期的に住民が集まる場として、健康講座や体操と茶話会を合わせてすることになった。

## ②【東山田地区】はつらつはあとの会

地域住民有志による「体操の場」。連自治会と地域にある社会福祉施設との協働事例。公民館は利用グループが多く、新たに活動を始めようと思っても会場を押さえることが難しい。そこで、連自治会長が地域にある社会福祉施設に会場の開放を相談し、週 1 回会場を開放してもらうこととなった。体操やレクリエーションのリーダーは地域住民が担い、地域住民の介護予防の機会となっている。また、福祉施設利用者も参加できることで、地域とのつながりが生まれている。

## ③【豊一地区】えさかカフェ／とよつカフェ

地域にある介護保険サービス事業者と地域包括支援センターと喫茶店との協働事例。

地域の中で身近に気軽に介護相談などができる場として、喫茶店を活用した地域の集いの場となっている。地域の気がかりな高齢者について、近隣住民の方が相談に訪れ、地域包括支援センター職員が相談者と一緒に高齢者宅を訪問するなど、地域住民と地域包括支援センターが身近となるきっかけにもなっている。

## ④【岸部地区】わいわい教室

高齢者いこいの家を会場にした体操やストレッチ、認知症予防の脳トレなどを実施。これまでは岸部地域包括支援センターが主体で行っていたが、現在は、岸部地域にある社会福祉施設 6 施設が協力して実施。

## ⑤【南山田地区】ぶらっと庵

日興千里台スカイタウン（490 世帯）での取り組み

住民有志ボランティアで運営。管理組合、子ども会、かしの木会（高齢クラブ）の協賛。

原則マンション住民を対象としたサロン「ぶらっと庵」を開催。

毎週水曜日 10：00～16：00

喫茶コーナーのほか、健康麻雀をしたり、囲碁をしたり、みんなで歌をうたうなど。子どもの宿題をする場所にもなっている。

マンションの行事として、お花見や昔遊び交流などがあり、世代間交流にもなっている。

## 生活支援サポート

### ⑥【佐竹台地区】お手伝いネット（佐竹台地区）

OPH 千里佐竹台Ⅱの住民（210 世帯）を対象にしたお手伝いネットワーク。

住居内で顔見知りであった高齢者より、浴室の清掃をする民間サービスの利用について相談があり、「そんなことであれば、私がお手伝いしますよ。」と話が進み、のちに自治会役員の中で、互いに支え合える仕組みを検討し、活動を平成 29 年 4 月から開始することになった。

主な活動：家具や机の移動、照明器具の清掃や取り外し、大掃除のお手伝い、高齢者や障がい者のサポート、高齢者の昼食会や一人暮らしの高齢者への声かけ、市役所や社会福祉協議会などとの取り次ぎ、包丁研ぎなど